

毛布を使った搬送訓練

～指導要領～

1 準備するもの

- ・毛布

2 指導のポイント

- (1) 徒手搬送はあくまで選択肢の1つであり、担架等があればそちらを使う
- (2) できるならば搬送する前に応急手当をおこなう
- (3) 場合によっては症状が悪化してしまうため、なるべく安静にして搬送する
- (4) 搬送するときは腰を痛めやすいので注意する
- (5) 二人で搬送するときは足から運ぶ

3 指導要領

～導入～

指導者：今から搬送方法について学んでもらいます。

搬送の方法は担架での方法もありますし、徒手（手を使った）搬送方法もあります。

間違っほしくないのは、今日学ぶ搬送方法はあくまでも選択肢の1つだということです。

たとえば、後ろから引きずるようにして搬送する方法があります。

ではこの方法ですべての人を運んでほしいかということそうではありません。

あくまでも「その人にとって最適な搬送方法はなにか？」それを判断してください。

場合によっては搬送する人の症状が悪化してしまうため注意が必要です。

また、搬送する前には応急処置をすることを忘れないでください。

～搬送方法（徒手）の説明～

指導者：今日は毛布を使った搬送の方法を学んでもらいます。

搬送には最低4人で搬送できますが、6人いた方が良いでしょう。

ポイントとして、「頭の横」、「腰の横」、「膝の横」、「足首の横」を持つようにしましょう。

- ① 毛布の両側に立ちます
- ② 両端を中心に向かって固く巻いていきます
- ③ 中央に傷病者を乗せ搬送します
- ④ 搬送する時は足から搬送します。
- ⑤ 急な坂道や階段を上り下りする場合、傷病者に負担をかけないようにするため頭側を高くして搬送します。

常に傷病者を気にかけて、声をかけてあげると良いでしょう。

いきなり階段を降りたりしたらびっくりしてしまいます。

毛布を巻く時も、持ち上げるときも常に頭の横にいる人が声をかけるようにしましょう。



～座った状態での搬送方法の説明～

指導者：なかなか使う機会はないかと思いますが、座った状態の方が楽だという場合に用います。

とても力が必要です。

- ① 毛布の両側に立ちます
 - ② 両端を中心に向かって固く巻いていきます
 - ③ 中央に傷病者を乗せます
 - ④ 傷病者が座った状態となるよう持ち上げます
 - ⑤ 搬送するときは足の方から搬送します
- 4人で搬送する場合は頭部の横と膝の横で毛布を持って搬送します



～注意点～

指導者：注意する点としていくつかあります。

- (1) 毛布を使った搬送はあくまで選択肢の1つであり、担架等があればそちらを使う
- (2) できるならば搬送する前に応急手当をおこなう
- (3) 場合によっては症状が悪化してしまうため、なるべく安静にして搬送する
- (4) 搬送するときは腰を痛めやすいので注意する
- (5) 二人で搬送するときは足から運ぶ
- (6) 長距離の搬送は大変なので、交代要員を準備しておく

～実技～

指導者：それでは実際にやってみましょう。